

# ドリームキャスト 説明書

## -目次-

└このソフトの概要	2 ページ
└システム要件	2 ページ
└ソフトのインストール	[ 2～ 5 ページ]
└ソフトのアンインストール	[ 6～ 7 ページ]
└操作説明	[ 8～14 ページ]
├ ────メイン画面	[ 8～11 ページ]
├ ────├ ────CASL のコーディング	8 ページ
├ ────├ ────自動注釈機能	9 ページ
├ ────├ ────自動エラー検出機能	10 ページ
├ ────├ ────整形機能	10 ページ
├ ────├ ────レジスタ・メモリ・スタック表示機能	11 ページ
├ ────ドリームモード	[12～13 ページ]
├ ────├ ────ラベルの入力	12 ページ
├ ────├ ────命令の入力	13 ページ
├ ────├ ────オペランドの入力	13 ページ
├ ────├ ────ソースの挿入	13 ページ
├ ────├ ────その他	13 ページ
├ ────テンプレート登録、新規作成・テンプレート	14 ページ
├ ────検索・置換	15 ページ
└その他	15 ページ

## ・このソフトの概要

ドリームキャスルには現存する他のシミュレータには存在しない機能を実装しております。これらの機能により「CASLのソースと日本語の相互互換」が可能となり、超初心者の方でも使いやすく、勉強の役に立つようになっております。機能の詳細については8ページを参考にしてください。

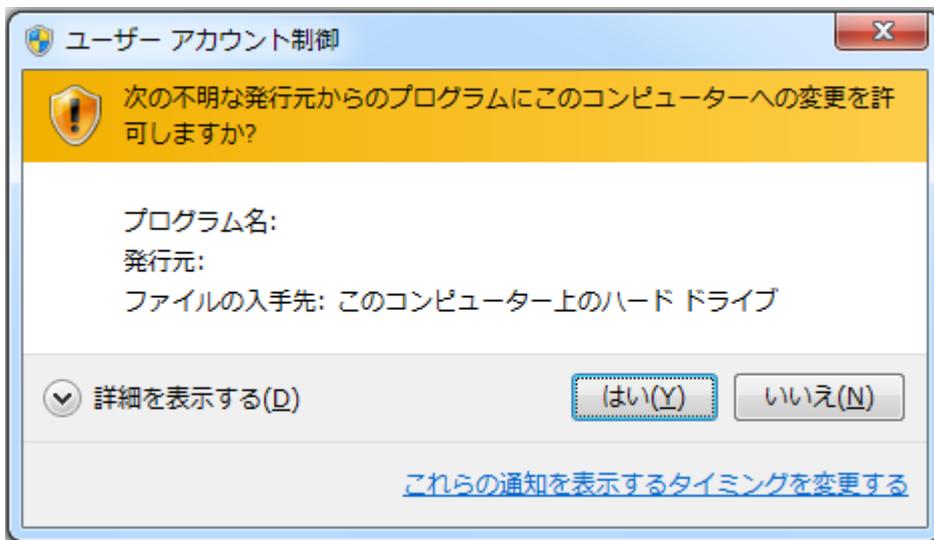
## ・システム要件

Microsoft .NET Framework 4 以上

## ・ソフトのインストール

まずソフトをインストールする前に、「ドリームキャスル」のフォルダの中にある「readme.txt」をよくお読みになってください。その後、同フォルダ内にある「setup.msi」ファイルを実行してください。インストールウィザードが起動したら、それに沿ってインストールを行ってください。

Microsoft .NET Framework 4 以下または Microsoft .NET Framework がインストールされていない場合、Microsoft 社のホームページから Microsoft .NET Framework 4 以上をダウンロードしインストールしてください。



Windows7 OS の場合、最初に上の画面のようなユーザーアカウント制御が表示されますので、「はい(Y)」を選択してください。



「次へ(N)」をクリックしてください。



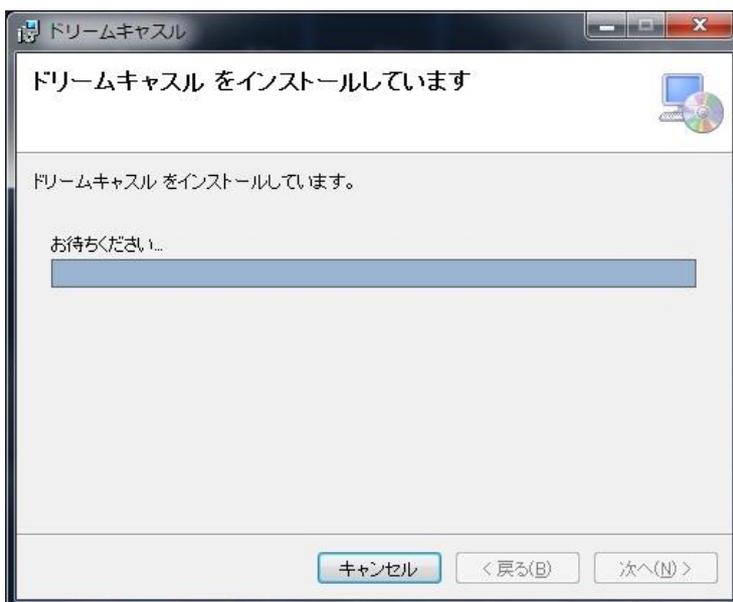
インストール場所を指定する場合、「参照(R)」でインストール先を選択、またはフォルダのアドレスを入力してください。通常はこのまま「次へ(N)」をクリックしてください。

すべてのユーザーが使用する場合、すべての「ユーザー(E)」のチェックを指定、またはこのユーザーのみが使用する場合「このユーザーのみ(M)」を指定してください。

インストール先が決定したら「次へ(N)」をクリックしてください。



「次へ(N)」をクリックしてください。



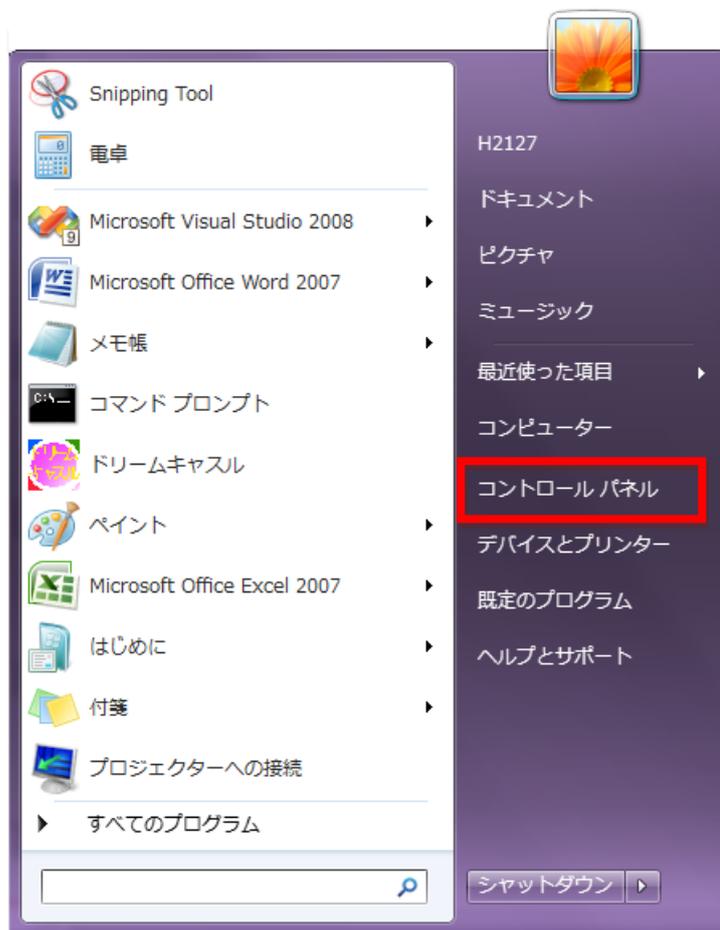
インストールが進行します。



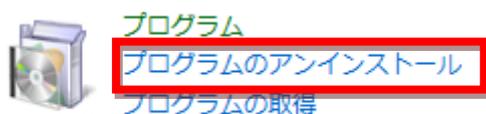
「閉じる(C)」をクリックしてください。

もしくは、コントロールパネル内のプログラムと機能からアンインストールを行ってください。

## ・ソフトのアンインストール



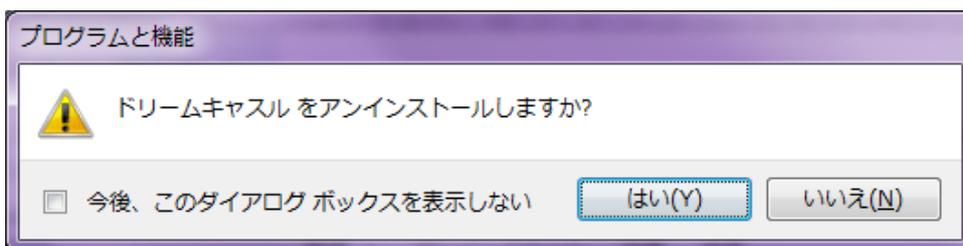
スタートメニューから「コントロールパネル」をクリックしてください。



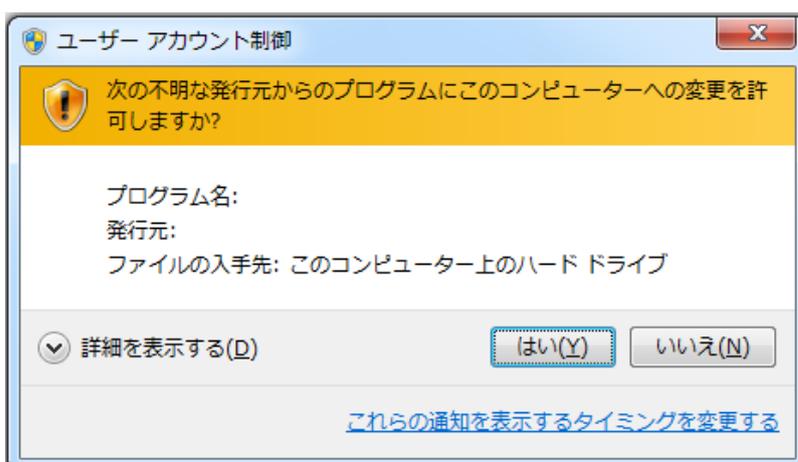
「プログラムのアンインストール」をクリックしてください。



一覧から「ドリームキャスル」を選択してください。



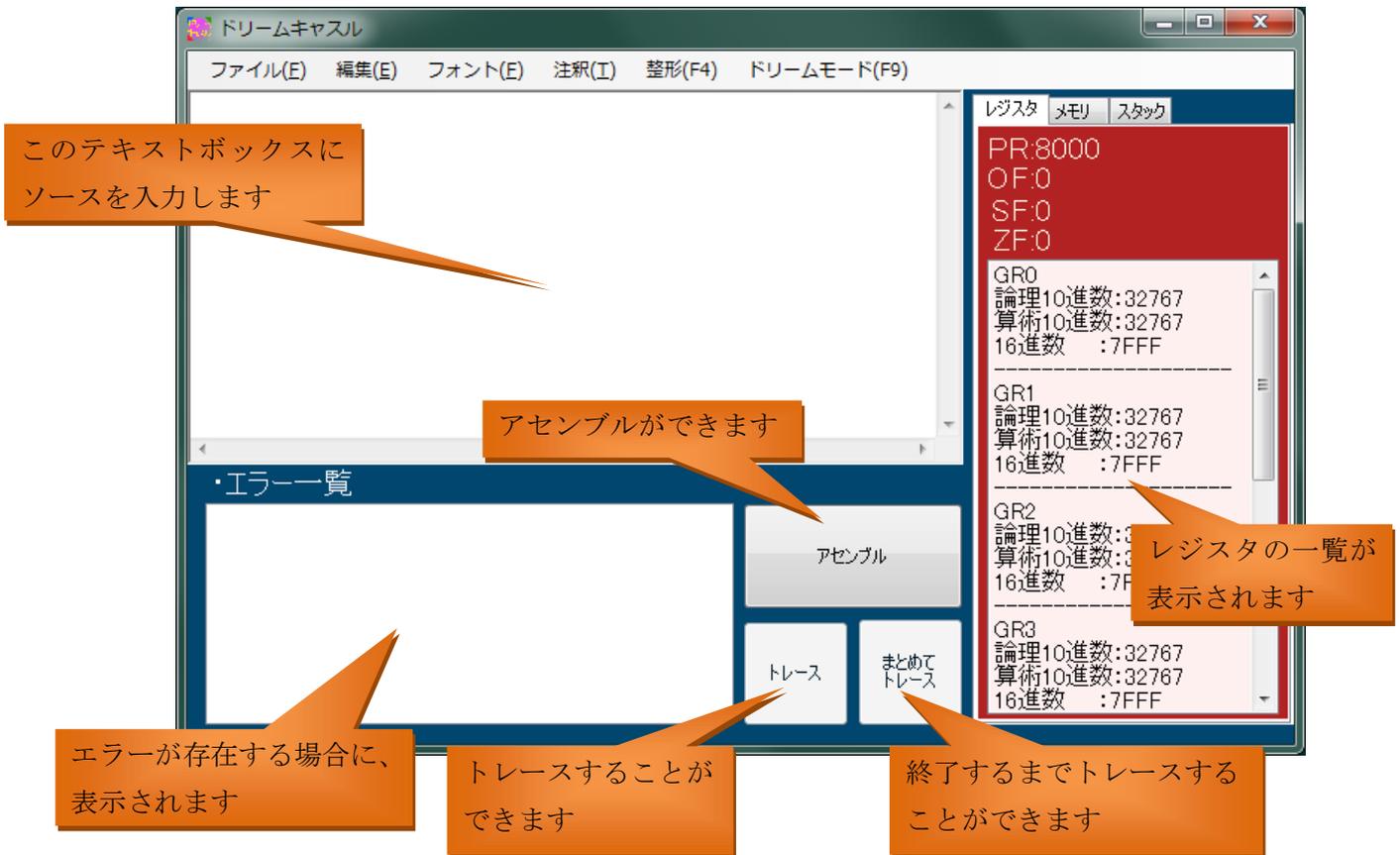
メッセージが表示されるので、「はい(Y)」をクリックしてください。



Windows7 OS の場合、削除開始前に上のような画面が表示されるので「はい(Y)」を選択してください。

## ・操作説明

### <メイン画面>



上の画面はドリームキャスルのメイン画面です。メイン画面の主な機能は以下の通りです。

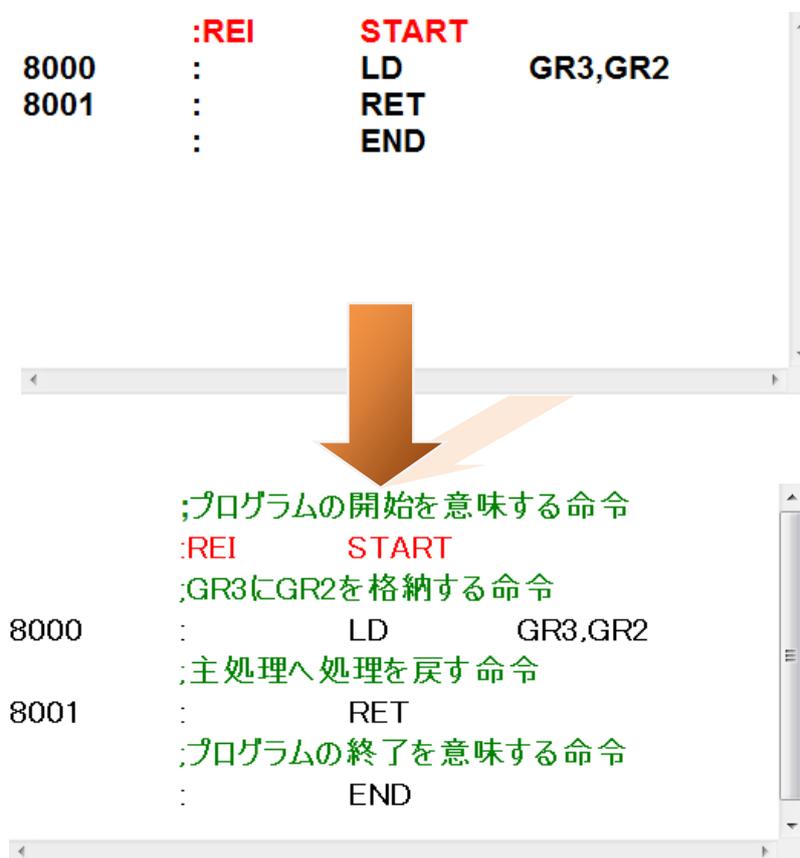
#### ① CASLII のコーディング

メイン画面内のテキストボックスに CASLII のソースを直接入力してコーディングをします。

※注意:ソースを空白で区切る(ラベル欄、命令欄、オペランド欄を区別する)ことは出来ず、区切ることができるのはタブのみとなります。また、ラベル欄を入力しない行にもラベル欄と命令欄を区別するために命令欄の前にタブが必要となります。

## ②自動注釈機能

自動注釈機能とは、アセンブル時にソースを解釈し、それぞれの行に対応した注釈を挿入する機能です。

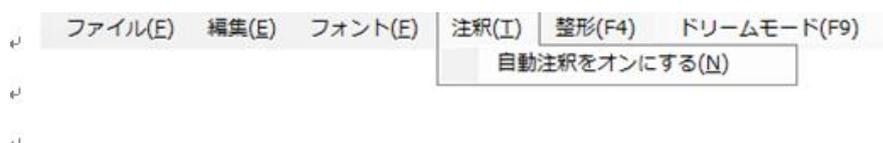


自動注釈機能のオン・オフの切り替えは、メニューバーの「注釈(T)」の中にある「自動注釈をオンにする(N)」にてできます。

### ※自動注釈がオンの場合

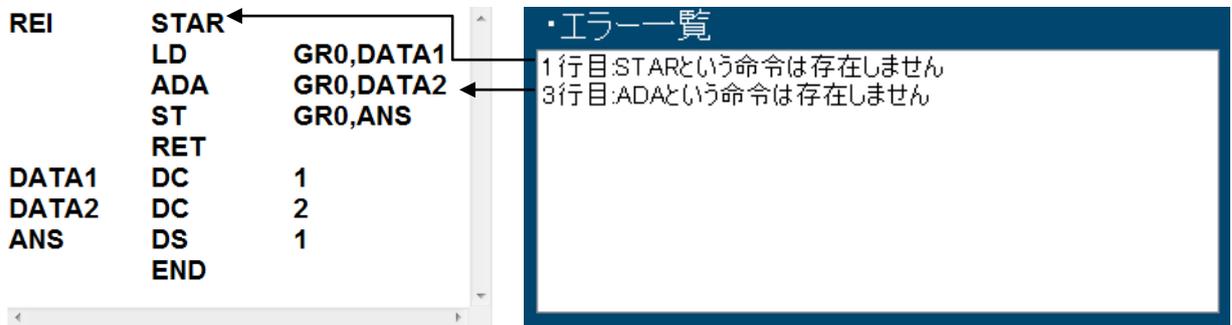


### ※自動注釈がオフの場合



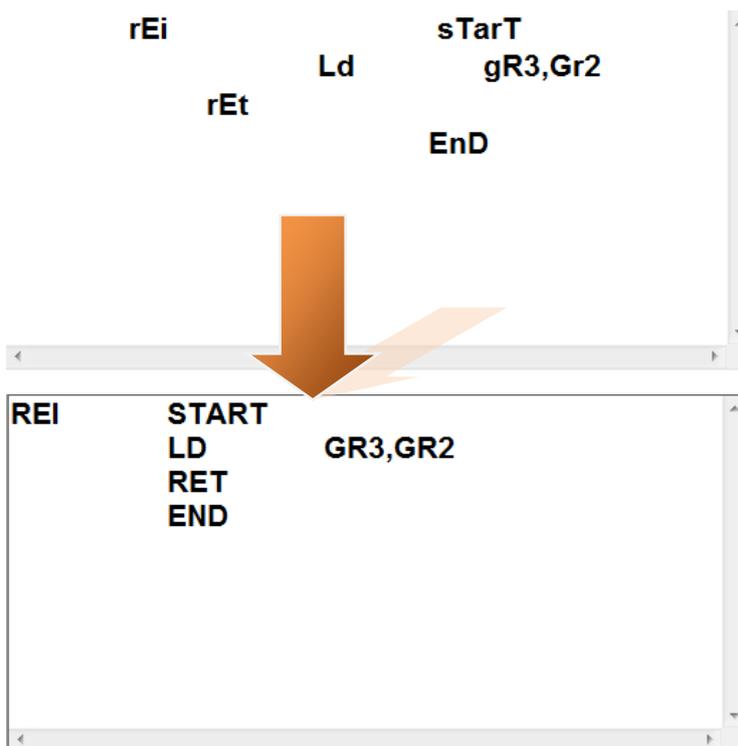
### ③自動エラー検出機能

自動エラー検出機能とは、ソースをコーディングしている時に自動でエラーチェックを行いユーザーにエラーの存在を知らせる機能です。



### ④整形機能

ソースを見やすくするために、ソースを整えること(連続したタブや改行をひとまとめにする、空白を消去するなど)ができます。



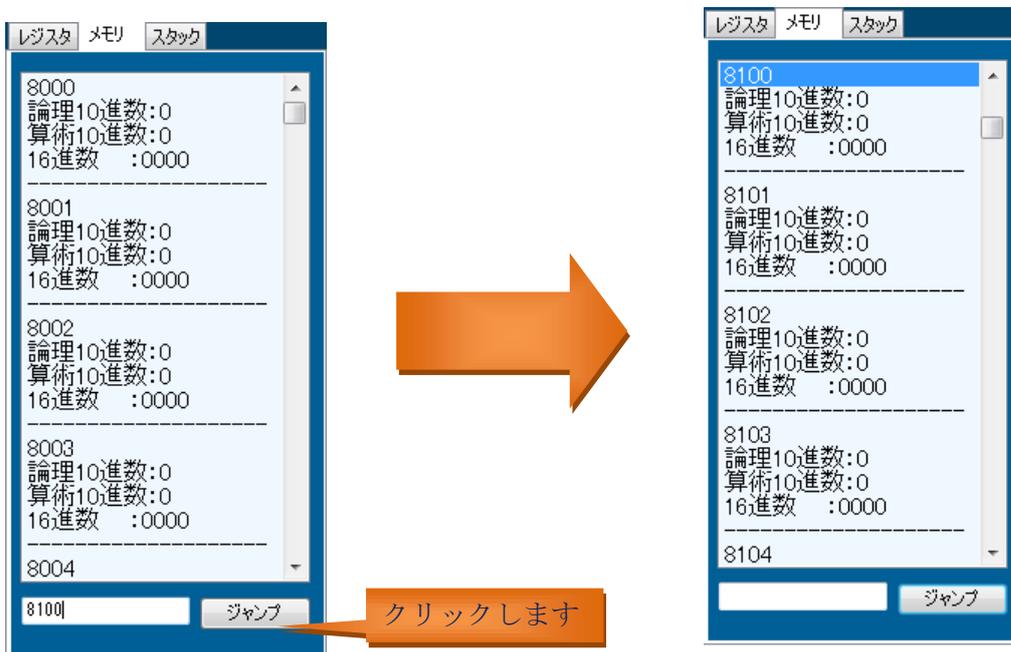
整形機能の使用方法はメニューバーの「整形(F4)」にてできます。



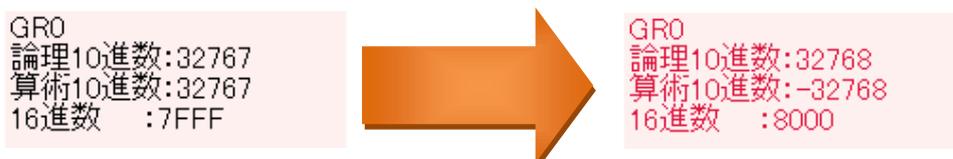
## ⑤レジスタ・メモリ・スタック表示機能



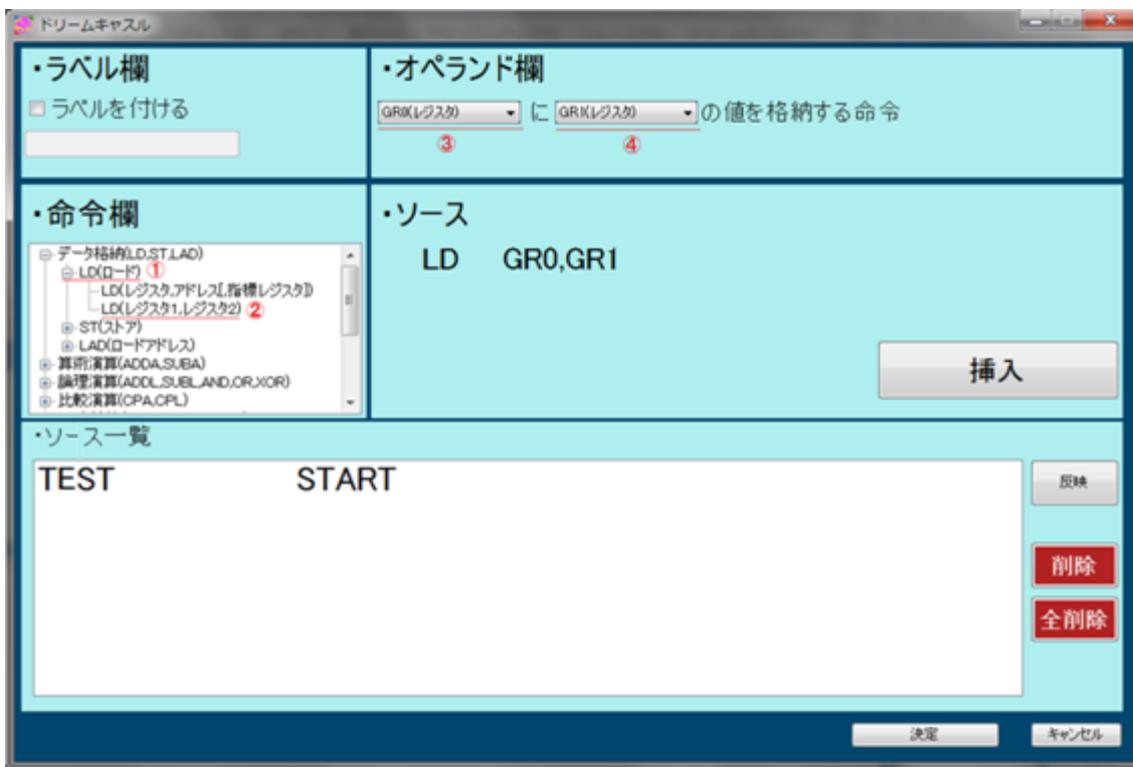
上の画面は左からレジスタ・メモリ・スタックの表示画面です。メモリの表示では、テキストボックスに入力したメモリに移動することもできます。



また、レジスタ・メモリの値が変化した場合、変化した箇所の色が変化します。

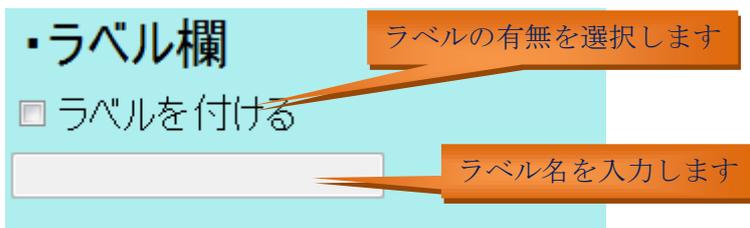


## <ドリームモード>



上の画面は、実際のドリームモードの画面です。コンボボックスやリストビューなどを組み合わせた専用のフォーム上で、命令の種類やオペランドの内容を設定することで、分かりやすい日本語による入力が可能になります。入力方法は以下の通りです。

### ① ラベルの入力



※CASLII の仕様により **START** 命令の場合には必ずラベルを入力し **END** 命令の場合には必ずラベルを入力できないようになっています。

## ② 命令の入力

### ・命令欄

命令を選択します

- データ格納(LD,ST,LAD)
  - LD(ロード)
    - LD(レジスタ,アドレス[指標レジスタ])
    - LD(レジスタ1,レジスタ2)
  - ST(ストア)
  - LAD(ロードアドレス)
- 算術演算(ADDA,SUBA)
- 論理演算(ADDL,SUBL,AND,OR,XOR)
- 比較演算(CPA,CPL)

## ③ ペランドの入力

### ・オペラント欄

GR0(レジスタ) に GR1(レジスタ) の値を格納する命令

オペラントを選択します

## ④ ソースの挿入

### ・ソース

①～③で選択したソースの内容が表示されます

LD GR0,GR1

ソース一覧にソースを挿入します

挿入

## ⑤ その他

反映

・・・シミュレータのソースを反映することができます

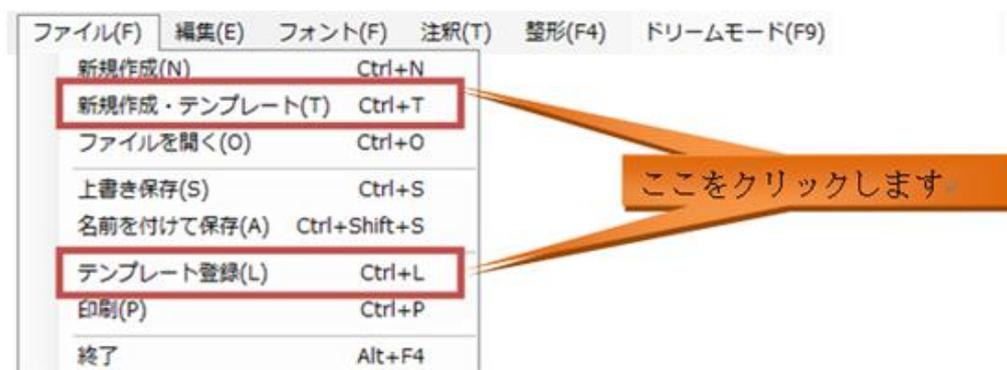
削除

・・・ソース一覧から選択された一行を削除できます

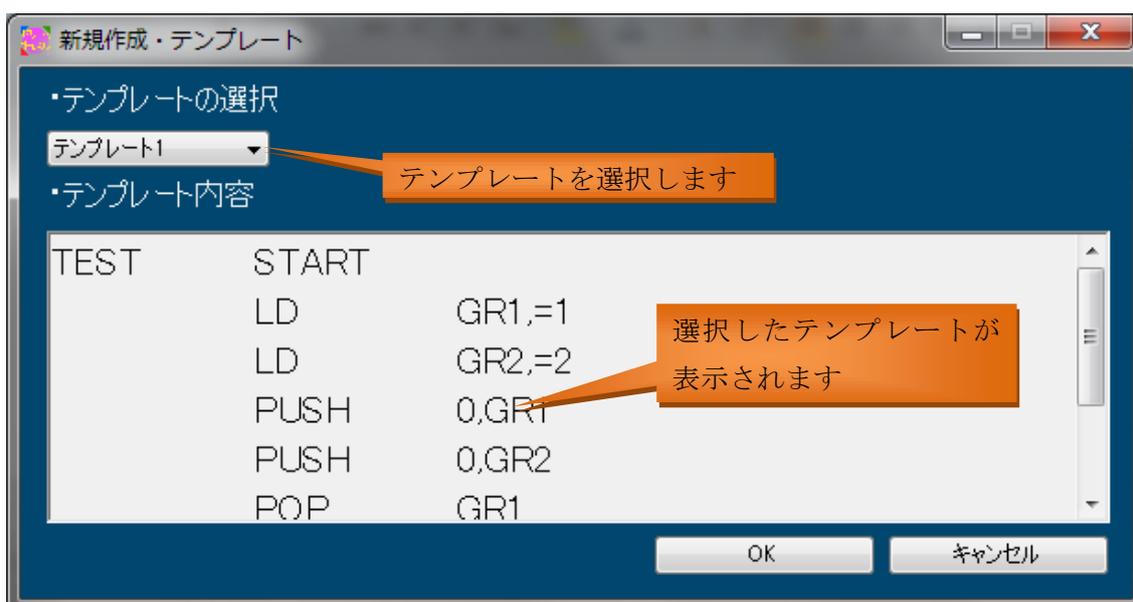
全削除

・・・ソース一覧を全行、削除できます

## <テンプレート登録、新規作成・テンプレート>



メイン画面から、「新規作成・テンプレート(T)」または「テンプレート登録(L)」をクリックします。

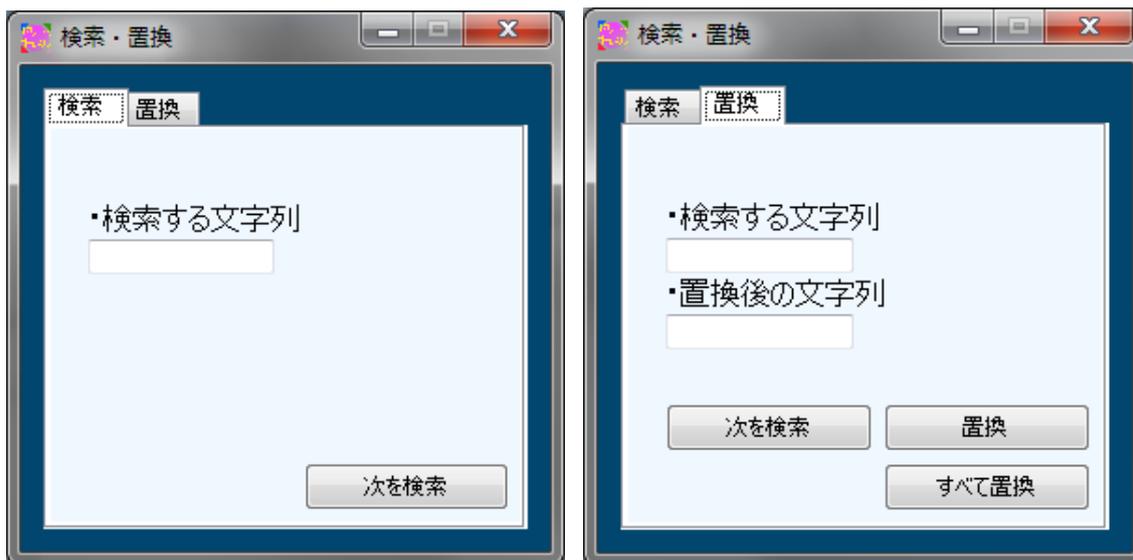


OK をクリックすると、新規作成・テンプレートの場合は選択したテンプレートの内容から新規作成ができ、テンプレート登録の場合はシミュレータのソースを選択したテンプレートにすることができます。

## <検索・置換>



メイン画面から、「検索(F)」または「置換(R)」をクリックします。  
すると、以下の画面が表示されます。



左の画面は検索の画面、右の画面は置換の画面です。

## ・その他

使用中になにかの誤動作、バグなどが発生した場合、以下に問い合わせさせていただきますと幸いです。

[miyagi.kenkou.jken@gmail.com](mailto:miyagi.kenkou.jken@gmail.com)